

謹 賀 新 年

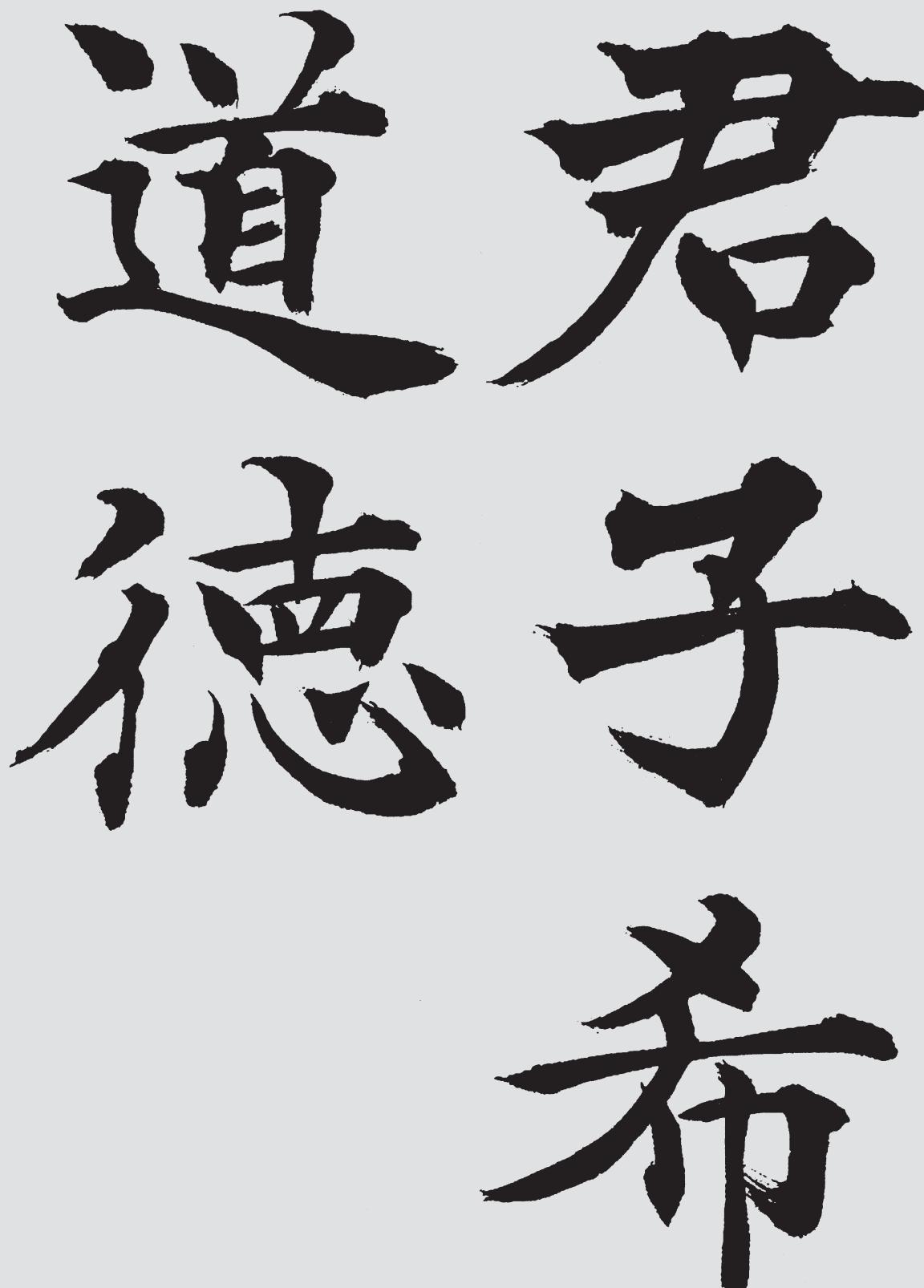
平 成 27 年 (2015)



高 須 翠 雲 先 生

参考手本

※これは規定課題ではありません。



君子、
道徳を
希

高木聖雨先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

君子、
道徳を
希
う



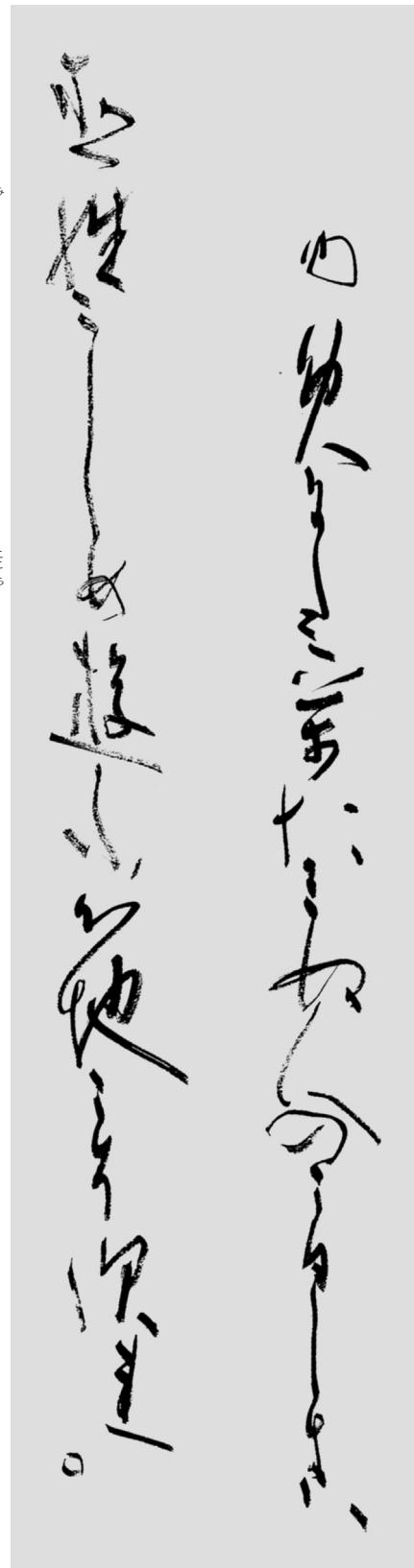
高木聖雨先生

条幅かな

条幅規定

C部（二段以下）

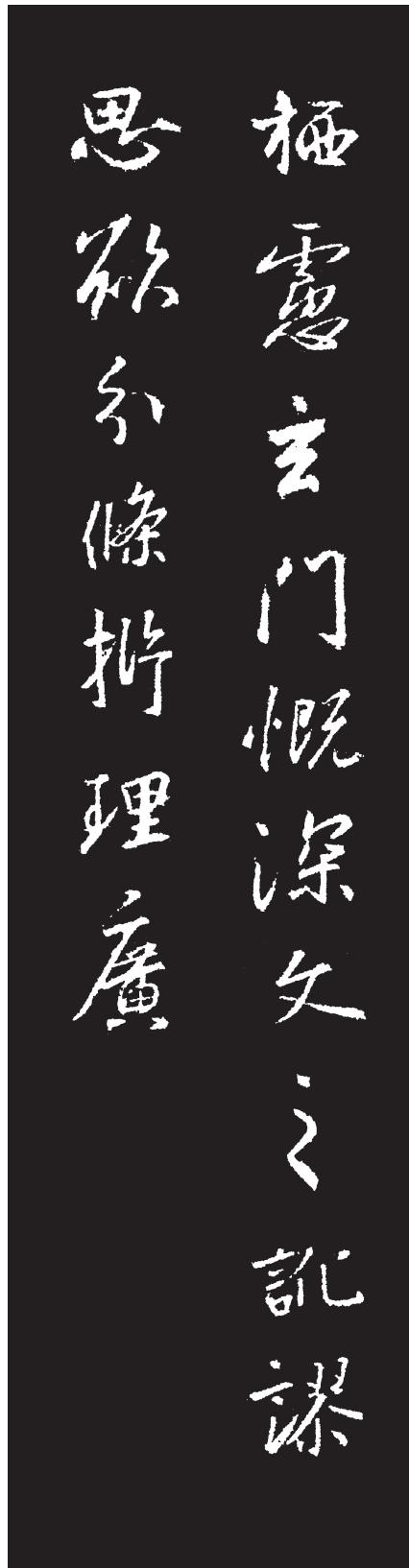
A部（準五段以上）
B部（四段～準三段）



集字聖教序（東晉・王羲之）

栖慮玄門慨深文之訛謬思欲分條析理廣

浮 乘 清 鄉 先 生



道因法師碑（唐・歐陽 通）

伽之音法師振以玄詞宣乎幽偈同炙輶而逾



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（2月10日締切）

半紙規定(一)

曹全碑（漢・作者不詳）

貪暴糾枉彈邪貪

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。



枉を彈じ邪を糾すや、貪暴

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(2月10日締切)

半紙規定(二)



九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

周建長廊四

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔一級以下〕楷書

高閣周り建ち長廊四に起こり

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(2月10日締切)

条幅参考手本

輝かしい新年を迎え

皆様のご清福をお祈り申し上げます

有限会社 北日本書芸院

淑氣自天來春榮麗日祥
光隨歲轉瑞藹和風

翠濤

主幹 菅野翠濤

淑氣自天來春榮麗日
祥光隨歲轉瑞藹和風

漢國山河在秦陵草樹深
暮雲千里色無處不傷心

上翠書

田邊玉翠先生

漢國山河在

秦陵草樹深
暮雲千里色
無處不傷心

条幅参考手册



塚田悠碩先生
野草無名都著花。
幽禽不見但聞語。



大井岳陵先生
野水自雲外
野草落葉稠
青松如舊識
曾到此中不

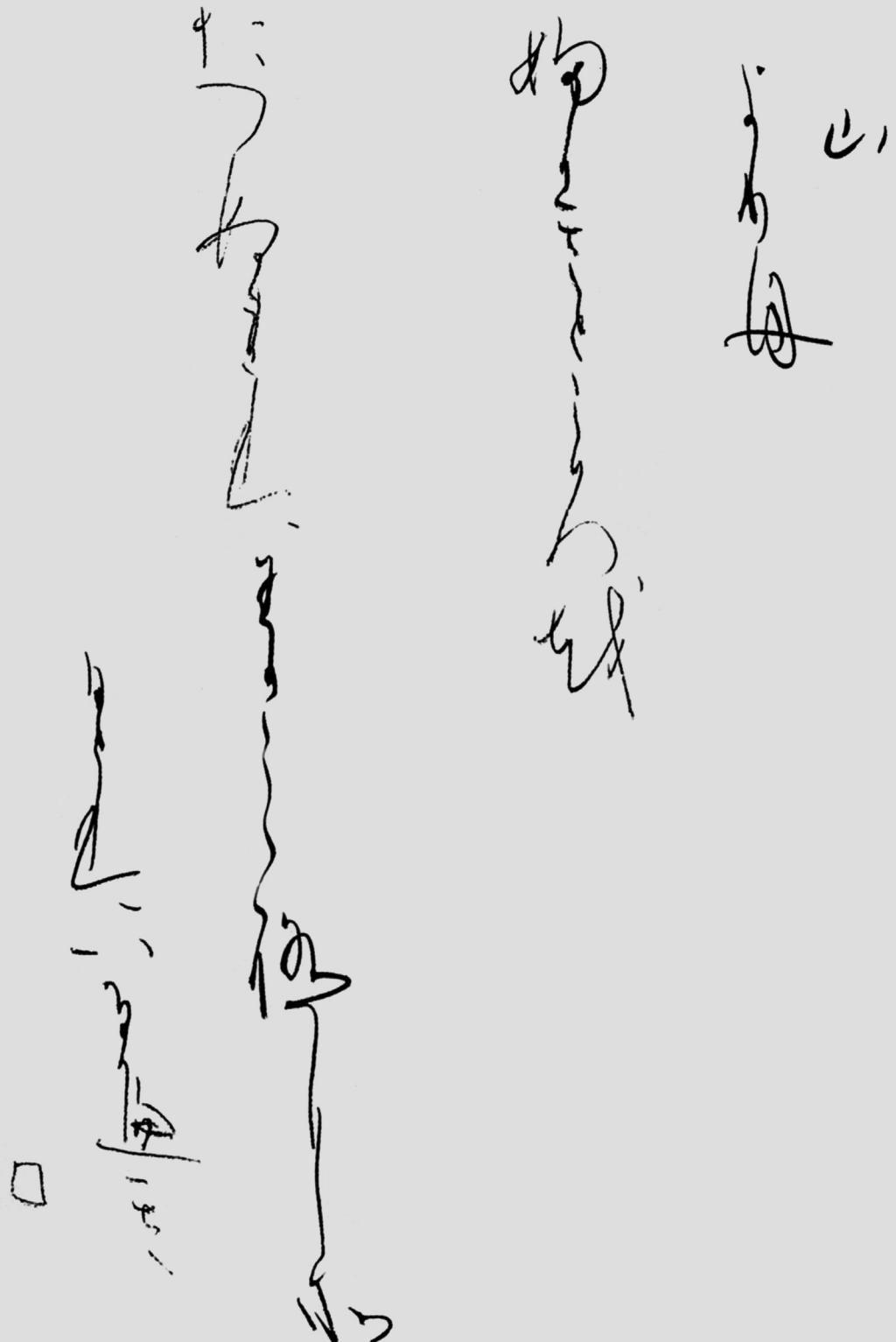


山田翠臯先生
偶坐爲林泉。
莫謾愁沽酒。
囊中自有錢。

半紙かな(初段以上)

山 よりも 深き 所を たづねればわが心にぞ人は入るべき
利 母 婦 可 越 連盤 王 可 こゝ路耳所 日と盤
山よりも深き所をたづねればわが心にぞ人は入るべき
(大納言齊信)

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)



※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由。

浮 乘 清 鄉 先生

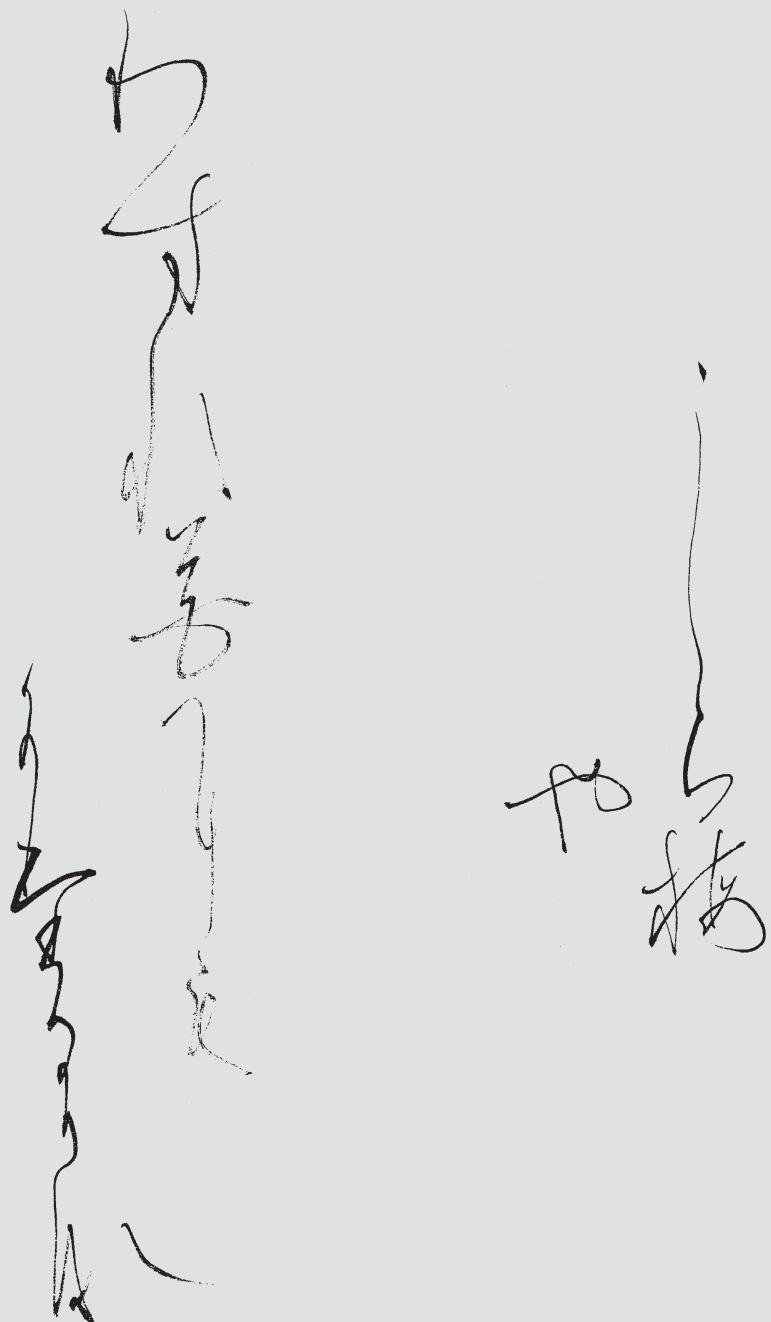
(2月10日締切)

半紙かな(1級～8級)

しら梅やわすれ花にも似たる哉
耳毛専堂可那
(与謝蕪村)

支部名 級 姓 号
(鉛筆可)

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由。



若月久美子先生

(2月10日締切)

実用文（準三段以上）

〈書風任意〉

謹んで新年の御祝詞を申し上
げます。昨年：御懇情を賜わり感謝に堪え万せん：御愛顧：お願い申し上
げます。新年より一層のご健勝願賜わ
りますよう、お辭儀申上と申聞

支 部 あ 姓 号

山 田 翠 皐 先 生

(2月10日締切)

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

謹んで新春の御祝いを申し上げます
今年こそはと思ひ乍らまたその
一年を無為に生年にしてしまいま
した反省頻りでござります

支那名 段級 姓号

久保田 悠山先生

(2月10日締切)

細字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より
P11

※一級～八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。
絲し陽 よう
幻げん炎 えん
かげろう。
まぼろしの糸のよう。

霞か

堤てい

霞の立ちこもっている土堤。

名前は必ず楷書
17cm(ヨコ) × 24cm(たて)

支部

段級

姓

号

陽 炎 絲 幻 霞 堤 楊 柳
陽 炎 絲 幻 霞 堤 楊 柳
陽 炎 絲 幻 霞 堤 楊 柳
幻 霞 堤 楊 柳

(2月10日締切)

硬筆（初段以上）

青 柳 江 雲 先 生

常綠樹の松は、一葉も變わらずに
青々としているので、「青松の松」と呼ば
れ、古来不衰のもの。長寿の象徴と
され、日本や中國の詩や絵画に取
上げられてきた。

支教名

系

姓 予

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

一富士二鷹三茄子、初夢に見る
めでたいものの順序です。

本院定型用紙・たて半分に書く

齋 藤 翡 流 先 生

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

号

一富士二鷹三茄子、初夢に見る
めでたいものの順序です。

齋 藤 翡 流 先 生

中2用

支部名

段級

名

前

希望の明帝

渡邊南嶧先生

中3用

支部名

段級

名

前

久空渡り鳥

小6用

支部名

段級

名前

の大雪朝

渡邊南嶂先生

中1用

支部名

段級

名前

の会向社動

— 19 —

渡邊南嶂先生

(2月10日締切)

小4用

支部名

段級

名

前

正心

大越三宗先生

小5用

支部名

段級

名

前

雪草わ

— 20 —

大越三宗先生

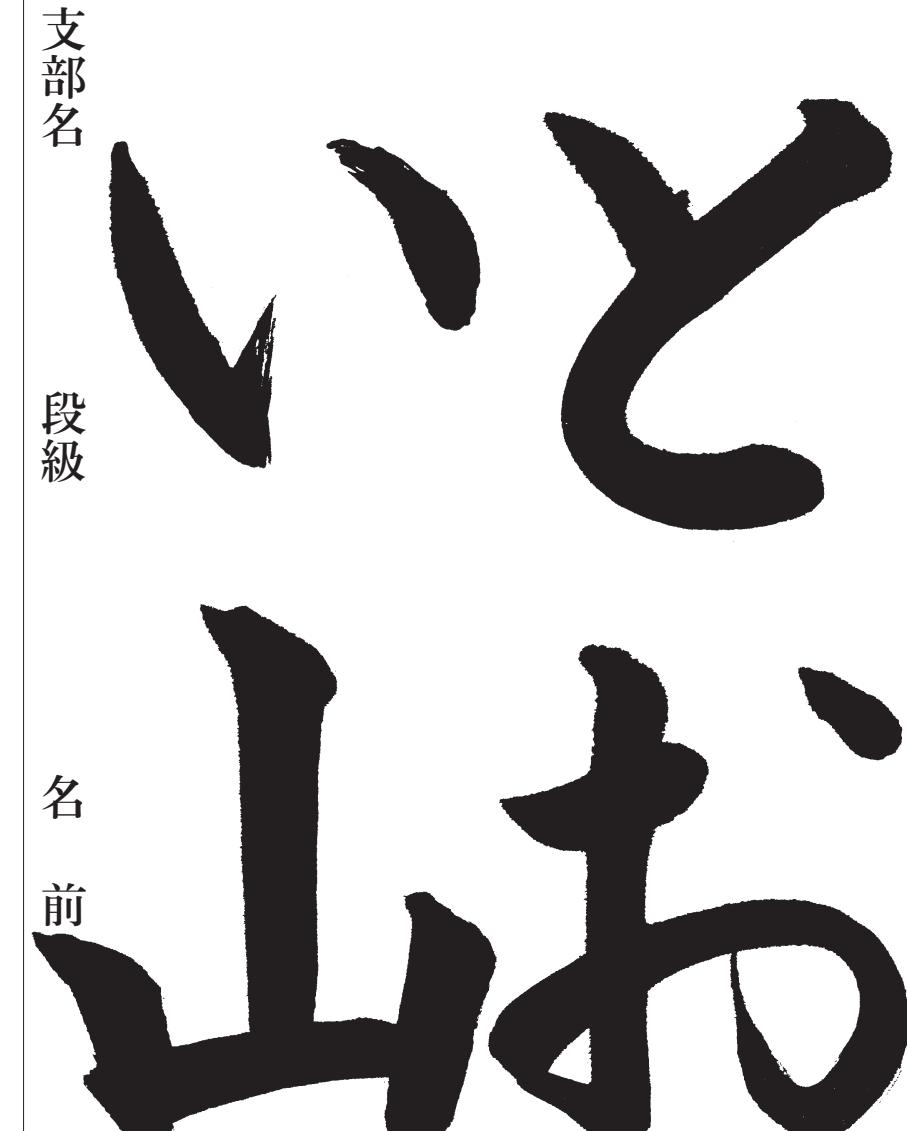
(2月10日締切)

小2用



鈴木翡翠先生

小3用



中 1

雪は音を吸收するから
降つて いる間は 静か だ。

中 2

節分の日を境に、少
すつ 暖かくなります。

中 3

青春時代は夢と希望に
満ちあふれて います。

中1～中3

青 柳 江 雲 先 生

小1・幼年用

支部名

段級

名 前

小1・幼年

まつくりました。
ともだちと、ゆきだる

小1～小3

小 2

ゆきが花びらのよう
たくさんふつていて
いる。

齊 藤 翡 流

小 3

二月はじめに、父とス
キーに行つてきます。

先生

小 4

自分で決めたことは、
さい後までつづけよう。

小4～小6

小 5

家族そろつて、節分の
豆まきをしました。

鈴 木 蕙 翠

小 6

人間の幸福は、日々の
努力から生まれて来る。

先生

(2月10日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名 前

主幹 菅野翠濤

富士山

金色に光る

読み = 冬ごもり 心の奥のよしの山
季語 = 冬ごもり

じっと冬ごもりしていると、吉野山に隠棲した西行のことがしきりに思われる、の意。こゝには『山家集』や『撰集抄』などが重ねられているであろう。

中学部かな課題

支部名

段級

名 前

船久保棠苑先生

冬
冬ごもりの山
吉野

(2月10日締切)

平成27年前期昇段試験要項

〔ノ切〕
・漢字・かな部 3月28日(土)

・実用文・細字・硬筆部 4月14日(火)

◆漢字A部 (六段～準五段応試)
サイズ 聯落 $\frac{1}{4}$ 継 (旧漢字使用の事)

左の詩を楷書体・行草体・隸書体の三体に揮毫のこと。
城闕輔三秦 風煙望五津 與君離別意 同是宦游人
海内存知己 天涯若比鄰 無爲在岐路 兒女共霧巾

(岩波文庫『中国名詩選中』P216)

◆漢字B部 (四段～準三段応試)
サイズ 謙慎展サイズ (40cm×160cm) (旧漢字使用の事)

左の詩を楷書体・行草体・隸書体の三体に揮毫のこと。
劍閣峥嶸而崔嵬 一夫當關 萬夫莫開 所守或匪親 化爲狼與豺

(岩波文庫『中国名詩選中』P303)

◆漢字C部 (二段～準二段応試)
サイズ 半切 (旧漢字使用の事)

左の詩を楷書体・行草体・隸書体の三体に揮毫のこと。
出門何所見 春色滿平蕪 可歎無知己 高陽一酒徒

(岩波文庫『中国名詩選中』P327)

◆漢字D部 (初段以下に応試)
サイズ 半切 (旧漢字使用の事)

左の詩を楷書体・行草体の二体に揮毫のこと。

(岩波文庫『中国名詩選上』P38)

※級から級への受験者はD部に応試のこと。
かなA部 (六段・五段応試) かな部課題の和歌はすべて

「かな墨場辞典」より出題。

(イ)聯落 $\frac{1}{4}$ 継以内 (たて) 春霞流るるなへに青柳の枝喙ひ持ちて 鶯鳴くも

(ロ)全懷紙 (たて) いま桜咲きぬと見えてうすぐもり春に霞める世のけしきかな

(ハ)古典臨書 (揮毫部分は任意)
「小島切」を半紙半分相当分 (たて) に書く

◆かなB部 (四段・三段応試)

(イ)聯落 $\frac{1}{4}$ 継以内 (たて) 岩間閉ぢし氷も今朝はとけそめて苔の下水道求むらむ

(ロ)半切 $\frac{1}{2}$ (たて) 白雲の過ぎ行く峰の桜かな

(ハ)古典臨書 (揮毫部分は任意)
「関戸本古今集」7～8行相当 (たて) に書く

◆かなC部 (二段以下に応試)

(イ)半切 (たて) さみしげに童立ちたり白つつじ咲きて荒れたる庭のあなたに
(ロ)古典臨書 (揮毫部分は任意)
「高野切第一種」を4～5行相当 (たて) に書く

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

◆実用文A部 (準三段以上に応試)

半紙タテ 落款は行草

山路には柏の葉が落ち、枳の花が宿場の土壙に白い花を咲かせている。そ

こで思い出すのは昨夜夢に見た杜陵の鴨や雁がいっぱい群がっているあの幾曲
りする堤の景色だ。

(岩波文庫『中国名詩選下』P186)

◆実用文B部 (二段以下に応試)

半紙タテ 落款は行草

旅ゆく身にはひとしお故郷のことが思い出される。鶏の声にせかされて慌しく
出発したが、旅籠の茅ぶき屋根の上には残月がかかっていた。

(岩波文庫『中国名詩選下』P186)

◆細字部

半紙横書き、落款は楷書・旧漢字使用

初段受験の方は楷行草の三体、準二段以上受験の方は楷行草隸の四体を揮毫し
て下さい。

有情芍藥含春淚 無力薔薇臥曉枝

(岩波文庫『中国名詩選下』P293)

※級から級への受験者は草書までを揮毫のこと。

◆A部 (六段～準五段に応試)

北日本書芸院指定用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと（字体は自由・落款は各
体に書く。）

揚子江のほとりは今や楊柳の春。風に舞い飛ぶ柳絮が江を渡つて行く人の心をかきみだす。今宵、この駅亭で別れの杯を酌んでいると、風に乗つて聞えてくる笛の音が四声、五声。

(岩波文庫『中国名詩選下』P210)

◆B部（四段～準二段に応試）段別の区分けが変更になりました。

北日本書芸院指定用紙タテ半分に楷・行・草別葉に揮毫のこと（字体は自由・落款は各体に書く。）
はるか彼方、芳しい草は旧道の上に伸びひろがり、緑の色も鮮やかに、荒れはてた都の城壁に続いている。

(岩波文庫『中国名詩選下』P103)

◆C部（初段に応試）段別の区分けが変更になりました。

北日本書芸院指定用紙タテ半分に楷・行別葉に揮毫のこと（字体は自由・落款は各体に書く。）
見渡すかぎり鶯が鳴きしきり、若葉の緑が花の紅に映えわたる。

(岩波文庫『中国名詩選下』P174)

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

◎昇段試験 実物大手数料・応試料

科目	種別	六～準五段を受験	四～準三段を受験	二～準二段を受験	初段を受験
漢字	手本料(1書体)	5,000	3,500	2,500	2,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
かな	手本料(1セット)	8,500	7,500	6,000	6,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
硬筆	手本料(3書体)	7,000	6,000	3,000 (2書体)	2,000
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
実用文	手本料	2,000		1,500	
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
細字	手本料		2,500		2,000
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000

※バーコード出品券だけを一枚貼り付けて下さい。

〈新年会〉ご案内

◎日 時 2月8日(日) 3時受付・3時30分開式
◎会 場 イタリア軒 ◎会 費 七、〇〇〇円 ◎申込〆切 1月20日(火)

※第63回北日本書芸院展授賞式も兼ねて行いますが、新年会だけの参加も歓迎いたします。

平成27年度 北日本書芸院 年間行事予定

『NST新春選抜展』 1月5日(月)～12日(月・祝)

学生書初コンクール 締切 1月13日(火)

審査 1月18日(日)

第63回北日本書芸院展 陳列 2月5日(木)

授賞式並びに祝賀会 2月6日(金)～8日(日)

会期 2月8日(日)

北日本書芸院 新年会 3月1日(日)

師範試験申込 締切 3月8日(日)

試験 3月28日(土)

前期昇段試験 締切 4月14日(火)

審査 4月5日(日)

学生前期昇段試験 締切 5月15日(金)

実用・細字・硬筆 締切 6月10日(水)

学生書道コンクール 締切 6月21日(日)

審査 9月12日(土)

夏期講習会 締切 9月26日(日)

後期昇段試験 締切 10月4日(土)

実用・細字・硬筆 締切 10月6日(日)

審査 11月13日(火)

換鷺会主催 筆供養 締切 11月16日(月)

学生後期昇段試験 締切 12月6日(日)

審査 12月13日(火)

第64回北日本書芸院展 締切 11月16日(月)

会期 2月14日(日)

授賞式並びに祝賀会

平成28年2月12日(金)～14日(日)